

検証 ^{どろする？} これからのまちづくり

自主組織の現状と課題

少子高齢化が進み、集落・自治会の担い手も少なくなっている。地域の活力を維持し、コミュニティをどう残していくかは喫緊の課題である。

自主組織 立ち上げる

平成24年12月、高麗地区で地域自主組織「ふれあいの郷かあら山」が設立された。

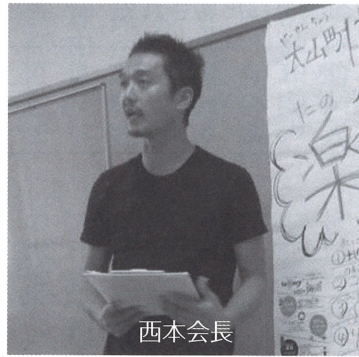
福間壽秋会長は成果や課題について、「昨年、組織内で若者部会が立ち上がり、交流世代が広がった。今後も、若い世代の活動を応援していきたい。課題は、公共施設の老朽化、廃止が進むなか、組織の活動拠点や地域コミュニティをどう守るか。」と語る。



福間会長

「楽しもなかやま」（平成28年4月設立）の西本憲人会長は、「テーマは2つ。1つ目に組織として精神面、経済面での自立を目指

していきたい。2つ目に幸せの定義がないように、まちづくりも同じである。まず身近な人たちのやりたいことを形にし、幸せを広げていきたい。今後は声の届きにくい層の人たちの声を届けていきたい。」と語る。



西本会長

また、町内10地区のうち、まだ3地区では地域自主組

過去議会では

合併当初から集落機能の低下や地域活動の担い手不足の問題を懸念し、「旧校区程度を単位とする地域自治組織の取り組みを早急に推進するべき」とする提言を2回行っている。（平成

19年12月・新町まちづくり調査特別委員会、平成22年3月・地域自治組織調査特別委員会）。

町では平成20年から旧校区ごとのまちづくり活動を推進してきた。平成23年には内閣府から赤井久宣さんを企画情報課未来づくり戦略室長（平成26年3月まで）に迎え、まちづくり地区会議の取り組みを強化し、7地域で自主組織の設立につながった。

これからのまちづくりに向けて

変わり続ける社会情勢のなか、自立的で持続可能な地域づくりをさらに推進し、住民の安心した生活と地域の活力の向上を実現しなければならない。

まちづくりは永遠のテーマであり、人口減少が進む今日、いま一度まちづくりのあり方を町民とともに考えていきたい。

設立年月日	自主組織名(地区)	拠点施設	会長
H24・12・2	ふれあいの郷かあら山 (高麗)	旧高麗保育所 福間 壽秋 (設立時会長：谷野保人)	
H26・3・9	やらいや逢坂 (逢坂)	まぶや 小林 直哉 (設立時会長：鹿島 功)	
H26・9・21	きばらいや上中山 (上中山)	旧上中山保育所 徳永幸実	
H26・11・16	支え合いのまち御来屋 (御来屋)	旧御来屋漁村センター 薩摩 浩	
H26・11・16	かくわの郷庄内 (庄内)	旧庄内小学校 橋本久行	
H27・4・18	まちづくり大山 (大山)	大山農村環境改善センター 馬田栄司	
H28・4・17	楽しもなかやま (下中山)	なかやま友好館 西本憲人	

※所子・名和・光徳地区では、地域自主組織設立に向け、まちづくり地区会議を継続中。